

排水機場 現地学習会開催!

(立田輪中悪水土地改良区)

令和7年11月に立田北部小学校と立田南部小学校のそれぞれ4年生の皆さんが、森川町の木曾川沿いに隣接する立田排水機場と立田輪中第二排水機場の現地学習会に来てくれました。

愛知県海部農林水産事務所の主催で、県営の農業農村整備事業で建設された排水機場を広く知ってもらう広報活動の一環で開いて頂いたものです。

そもそも土地改良区という団体は、農業インフラ設備を管理する目的で存在します。その地区に農地があるから農林予算で排水機場の建設をして頂いています。守るべきものも本来は農地。台風や大雨が農地に悪影響を及ぼさないために、排水機場や水路施設を管理しています。

しかし、その地区全体が水溜まりのように窪んでいたら、守るべきものは農地だけでは済まされません。住宅も道路も、何もかもを守る使命を帯びているのが現実です。今回学習会に参加してくれた4年生の皆さんには、目の前を雄大に流れる木曾川の高い水位と、自分たちが暮らす立田地区地盤の高低差を実感して頂いたり、排水機場の中のポンプ設備がどんな仕組みで動くのかを実体験して頂いたりしました。

帰り際には、『今日おうちに帰ったら、水害から地域の暮らしを守っている施設が身近にあることを、ご家族にも教えてあげてね』とお願いしました。こどもたちに興味深々の質問を頂いて、職員も光栄の至りでした。またこれからもぜひお越しください。お待ちしております。



令和7年度 維持管理費		令和7年度 排水機場 運転状況		
水路,排水機場等 施設全体	うち光熱水費のみ	排水機場名	運転日数	運転時間
41,814,121円	29,970,149円	<small>たつた</small> 立田排水機場	240日	2,173時間
		<small>たつたわじゅう</small> 立田輪中 第二排水機場	253日	2,108時間

※維持管理費は、令和8年3月31日現在で支出処理が確定している値のみを記載しています。

排水機場は水を吸い込む機能上たくさんのゴミが流れてきます。処分には多くの費用が掛かりますので、水路へのゴミ捨てはやめてください。